

離婚協議書

夫●●（以下「甲」という）と妻●●（以下「乙」という）との間で、離婚等につき次の通り合意する。

第1条（離婚の成立）

甲と乙は、協議離婚することに合意し、協議離婚届に署名捺印したことを確認する。

- 2 甲は、前項の協議離婚届を乙に託し、乙は、本日より1週間以内に、協議離婚の届出をする。

第2条（親権及び面会交流）

甲と乙との間の子●●（以下「丙」という）の親権者を母である乙と定め、同人において監護養育する。

- 2 乙は、甲が、丙の意思を尊重したうえで、甲の申し出に応じて少なくともひと月に●回の割合で面会交流することを認める。
- 3 面会交流は、具体的な日時、場所、方法を含め、丙の意思を確かめ、甲乙間の協議又は調停で決める。

第3条（養育費）

甲は、丙の養育費として、平成●●年から、丙が成人に達する日の属する月まで、1ヵ月●●円を、乙の指定する金融機関口座に送金する方法で支払う。送金手数料は甲の負担とする。

第4条（財産分与）

別紙物件目録記載1及び2の不動産については、次の通りに定める。

- (1) 不動産1及び不動産2は、従前通り、甲の所有とする。
- 2 別紙物件目録記載3の不動産については、次の通りに定める。
 - (1) 甲は、本件離婚に伴う財産分与として、不動産3を平成●年●月

●日限り，乙に譲渡する。

(2) 甲は，乙に対し，前項記載の不動産について本日財産分与を原因とする所有権移転登記手続をする。なお，登記手続費用は甲の負担とする。

(3) 譲渡にかかる所有権移転登記費用等の諸経費は甲の負担とする。

3 甲と乙は，下記預貯金について，甲名義の財産は乙に属することを相互に確認する。

記

(1) 名義人甲 ●●銀行●●支店 普通預金●●

(2) 名義人甲 ●●銀行●●支店 定期預金●●

第5条（慰謝料）

乙は，甲に対する慰謝料を放棄する。

第6条（年金分割）

甲乙間の別紙記載の情報にかかる年金分割については，分割割合を2分の1とする。

第7条（清算条項）

甲と乙は，甲乙間に，本件に関し，本契約に定めるもののほか，何らの債権債務がないことを相互に確認する。

第8条（執行の受諾）

甲は，本契約に定める金銭債務を支払わないときは直ちに強制執行を受けても異議がない旨の陳述をした。

以上

平成●●年●月●日

甲) 住所.....
氏名.....(印)

乙) 住所.....
氏名.....(印)

物件目録

1 不動産 1

所 在
地 番
地 目
地 積

2 不動産 2

所 在
家屋番号
種 類
構 造
床 面 積

1 不動産 3

所 在
地 番
地 目
地 積